

## 平成26年度 事務事業総点検シート(1)

事務事業名	理科実験準備等支援事業							
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校教育部	部	教育センター	課	点検責任者(課長名)	濱本

事業基本情報(必要性)	1	堺市マスタープランの政策体系	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます			
			施策	3	学ぶ力・生きる力の育成	2	事業開始年度	H 25 年度
	3	根拠法令等						
	4	事業実施の経緯	経験不足の小学校教員が増加し、スキル不足により、十分な観察実験が行えていない。また、理科実験中の事故も発生している。JSTIによる小学校理科支援員配置事業は24年度で廃止となったが、観察実験の補助と専門的に教員への指導ができる理科観察実験アシスタントの必要性はさらに高まっている。					
	5	事業の対象	教員 堺市立小学校3～6年生					
	6	事業目的	理科に関して専門的な人材を堺市立小学校に配置し、観察・実験における教員支援に加え、教員への指導を行うことで理科指導力の向上を図る。 観察実験を重視した授業を展開することで児童の学力及び学習意欲の向上を図る。					
	7	事業内容	理科に関して専門的な人材を堺市立小学校に配置し、観察・実験における教員支援に加え、教員への指導を行うことで理科指導力の向上を図る。 観察実験を重視した授業を展開することで児童の学力及び学習意欲の向上を図る。					
<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他( )								

項目		単位	H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	
事業コスト	8	事業費 (a)	千円	13,228	12,324	11,025	11,025
	主な事業費内訳	理科観察実験アシスタント配置 (参考:24年度までは理科支援員配置)	千円	12,988	12,296	11,025	11,025
		その他	千円	240	28		
			千円				
	財源内訳	一般財源	千円			50	7,350
国・府支出金		千円	13,228	12,324	3,675	3,675	
その他(子ども教育ゆめ基金繰入金 )		千円			7,300		
9	人件費(再任用、短期臨時職員等含む) (b)	千円	0	0	1,640	1,580	
10	事業コスト(c)=(a)+(b)	千円	13,228	12,324	12,665	12,605	

指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動指標(有効性)	理科観察実験アシスタント配置校数(累積)	校	目標			93	93
			実績			33	
			達成率	%	%	35%	
活動実績単位コスト(事業コスト/活動実績)		千円			384		
算出方法・計算式など							
指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		目標					
		実績					
		達成率	%	%	%		
活動実績単位コスト(事業コスト/活動実績)		千円					
算出方法・計算式など							
【数値以外の目標や実績など】							

## 平成26年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	理科実験準備等支援事業							
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校教育部	部	教育センター	課	点検責任者(課長名)	濱本

成果指標(有効性)	指標名	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	支援員(アシスタント)配置により理科が面白くなったという児童の割合	%	目標		75	79	83	87
			実績		75	80	84	
			達成率		100%	101%	101%	
	算出方法・計算式など							
	指標名	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
			目標					
			実績					
			達成率		%	%	%	
	算出方法・計算式など							
【数値以外の目標や実績など】								

事業点検項目(効率性・妥当性)	指標の傾向の確認(活動指標・成果指標それぞれの経年変化)			
	13	活動実績単位コスト(11)	活動指標の達成率(11)	成果指標の達成率(12)
		<input type="checkbox"/> 縮減傾向 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> 上昇傾向	<input checked="" type="checkbox"/> 上昇傾向 <input type="checkbox"/> ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> 低下傾向	<input checked="" type="checkbox"/> 上昇傾向 <input type="checkbox"/> ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> 低下傾向
		関連事業との統合の可能性	統合可能性のある関連事業名	関連事業がある場合、統合の可能・不可能の理由
	14	<input type="checkbox"/> 関連する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 関連する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 関連する事業はない		
		民間実施や市民協働の可能性	左記の理由	
	15	<input type="checkbox"/> 可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない <input type="checkbox"/> すでに実施している		国の補助金を得て実施しているため
		受益者負担の確認	左記の理由	
	16	受益者負担の有無	見直しの必要性	学校教育の一環であるから
		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
17	市民ニーズとの合致性		把握方法・把握していない場合、その理由	
	市民ニーズの把握 <input checked="" type="checkbox"/> 把握している <input type="checkbox"/> 把握していない		アンケート実施	
18	比較参考値(政令指定都市の状況、国等の基準との比較等)			
	【政令指定都市の状況】 大阪市 48(/297)小学校に配置 予算約2,022万円      京都市 41(/120)小学校に配置 予算約1,500万円 神戸市 34(/166)小学校に配置 予算約 800万円			
	【国等の基準との比較】			
【その他の状況】				

改善取組	19	課題	「活動指標」「成果指標」「事業点検項目」での点検内容を踏まえて記入 全アシスタントが前向きに業務に取り組んでいるが、中には観察や実験の技能に未熟な人がおり、全校に均質なアシスタント配置ができていない。 毎年70校近くから応募があるが、配置校は約半分である。観察実験を重視した授業推進を全市的に図るためには、全校配置が望ましい。
	20	改善取組	上記課題に対する平成26年度における改善取組 登録者をさらに募り、技能にすぐれたアシスタントを流動的に配置校全体に周回できる仕組みをつくる。

事業所管課評価	21	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	左記の理由(必要性・有効性・効率性・妥当性を踏まえて記入) 子どもの理科離れ、教員の指導力不足が問題になっている今、実験・観察において担任の支援を行い、また、教員の指導力向上を図ることは重要である。
	22	公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ゼロ	左記の理由 25年度配置校では、アシスタントによる校内研修を実施し教員の指導力向上に成果を上げている。堺市全体の成果を上げるためには同様の予算が必要であるため。